

本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本製品をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

本製品の利用目的について

本製品は、高性能コンピュータの平和利用に関する日本政府の指導対象となっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお読みください。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関する不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
3. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

安全に関わる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険で、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本製品で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本製品に付属するドキュメント類、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	警告	
	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。	

本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		指がはさまれてけがをすることがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをすることがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。		

安全上のご注意

全般的な注意事項

	警告	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない。 本製品は、医療機器・原子力設備・や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
		煙や異臭、異音が生じたまま使用しない。 万一、煙、異臭、異音が生じた場合は、ただちに接続されている全てのサーバの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
		針金や金属片を差し込まない。 本製品のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

	製品内に水や異物を入れない。 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
--	--

電源・電源コードに関する注意事項

	警告	アース線をガス管につながらない。 アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。
	注意	指定以外のコンセントに差し込まない。 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外のコンセントを使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。クラス OI のアース戦付きの AC コードセットを使用する場合は、設置接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。設置接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
		たご足配線にしない。 コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
		中途半端に差し込まない。 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因になることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと火災の原因となるおそれがあります。
		指定以外の電源コードを使わない。 本製品に添付されている電源コード以外の電源コードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ● 電源コード部分を引っ張らない。 ● 電源コードを折り曲げない。 ● 電源コードをはさまない。 ● 電源コードをねじらない。 ● 電源コードに薬品類をかけない。 ● 電源コードを踏まない。 ● 電源コードの上にものを載せない。 ● 電源コードをテープなどで固定しない。
		● 電源コードを改造・加工・修復しない。 ● 電源コードを束ねたまま使わない。 ● 損傷した電源コードを使わない。 (損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
		添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない。 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
		電源ケーブルを持って引き抜かない。 電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が損傷し、火災や感電の原因となります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	注意	指定以外の場所に設置・保管しない。 本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ● ほこりの多い場所。 ● 直射日光が当たる場所。 ● 湿気の多い場所。 ● 不安定な場所。
		指を挟まない。 ラックへの取り付け/取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
		指定以外のインタフェースケーブルを使用しない。 インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ● ケーブルを踏まない。 ● ケーブルの上にものを載せない。 ● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ● 破損したケーブル・コネクタを使用しない。 ● ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。
		本製品に接続されている製品の電源がONのまま、電源コードを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない。 インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは、接続されている全ての製品の電源を OFF し、本製品および接続されている全ての製品の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ、電源を OFF にしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
		腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない。 腐食性ガスに酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなどの存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント基板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にご相談ください。

お手入れに関する注意事項

	警告	自分で分解・修理・改造はしない。 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
		電源プラグを差し込んだまま取り扱わない。 お手入れの際は、接続されている全ての製品の電源を OFF し、本製品および接続されている全ての製品の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ、電源を OFF にしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま水滴などが付くと、発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意

	中途半端に取り付けけない 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
--	--

	注意	日本国外で使用しない。 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
--	-----------	--

ラックキャビネットの設置・取り扱いに関する注意事項

	注意	一人で搬送・設置をしない。 ラックの搬送・設置は二人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず二人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
		荷重が集中してしまうような設置はしない。 ラック、および取り付けられた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをすることがあります。
		一人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する。 ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付け下さい。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをすることがあります。
		ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない。 ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをすることがあります。
		複数台の装置をラックから引き出した状態にしない。 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをすることがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。
		定格電源を越える配線はしない。 やけどや火災、装置の破損を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

警告

		指定以外の場所で使用しない。 本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所に設置しないでください。本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、ラックの転倒によるけがなどをすることがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。
		規格以外のラックで使用しない。 本製品は EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用できます。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本製品が使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

	警告	ぬれた手で電源プラグを持たない。 ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
--	-----------	---

運用中の注意事項

	注意	ペットを近づけない。 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入って火災や感電の原因になります。
		雷がなったら触らない。 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
		動作中に装置をラックから取り外さない。 本製品が動作しているときにラックから取り外したりしないでください。本製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをすることがあります。
		本製品のうえにものを載せない。 本製品がラックから外れてけがや周囲の家財に損害を与えるおそれがあります。

警告ラベルについて

本製品には、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を操作する際に、考えられる危険性を常にお客様に意識して頂くためのものです(ラベルをはがしたり汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどとして判読できないときは販売店にご連絡ください。

製品の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について
本製品を第三者に譲渡(または売却)するときは、添付品一式(電子マニュアルを含む)と一緒にお渡ください。ユーザーズガイド CD-ROMには本製品のユーザーズガイドがPDFファイルとして格納されています。

製品の廃棄について
本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本製品と一緒に廃棄してください。

健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことから記載します。身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい姿勢で作業をしましょう。	キーボードの角度を調節しましょう。
ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。	ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

その他
本製品を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、オンラインドキュメントの「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

本製品に関する詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は添付のユーザーズガイド CD-ROMの中に PDF ファイルとして格納されています。PDF ファイルは「Adobe Reader」で閲覧することができます。Adobe Reader は Adobe のホームページから無償でダウンロードできます。同 CD-ROMの中に Adobe ホームページへのリンクがあります。

セットアップの流れ

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでに手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関する注意
 製品をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「使用上のご注意～必ずお読みください～」をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

警告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル等を含め装置に触らないでください。感電のおそれがあります。
- 分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっている事を確認してください。

- スタートアップガイド（本書）
- ユーザーズガイド（CD-ROM） × 1
- 保証書
- ネジセット（ラック取付用ネジ）
- ネジセット（ブラケット取付用ネジ）
- ラックマウントブラケット（大） × 2
- ラックマウントブラケット（小） × 2
- ケーブルクランプ × 1
- 電源コードクランプ × 1
- ゴム足 × 4
- ケーブルタイ × 10
- 行き先表示ラベル（1シート（36枚））
- 電源コード × 1

重要 添付のユーザーズガイド CD-ROM は大切に保管しておいてください。ユーザーズガイドはユーザーズガイド CD-ROM の中にオンラインドキュメントとして格納されています。ユーザーズガイドは Adobe Reader で閲覧できる PDF ファイルです。Adobe Reader は、Adobe のホームページから無償でダウンロードできます。

Step 2 設置

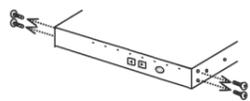
ラックに設置する場合。

本製品は EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用します。次の条件に当てはまるような場所には設置しないでください。これらの場所に設置したラックに本製品を搭載すると、誤動作の原因となります。

- 各装置や周辺装置をラックから完全に引き出せないような狭い場所。
- ラックや搭載する各装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床におとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する場所。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- 本製品の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共有しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど）を発生する装置の近く（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください）。

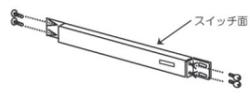
1. 本製品裏面のフロントパネル接続ケーブルをフロントパネルから取り外します。卓上で使用していた本製品をラックへ取り付ける場合は、ゴム足（4 箇所）を取り外します。

2. フロントパネルの左右の皿ネジ（片側 2 個で計 4 個）を取り外します。（皿ネジは大切に保管してください。）

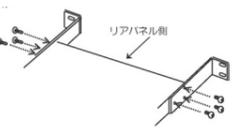


重要 ネジを外すとフロントパネルが外れます。フロントパネルを落として足等にけがをおわないように注意してください。

3. フロントパネルを本体から取り外し、ラックマウントブラケット(小)をブラケット取付用ネジ（片側 2 個ずつ）で左右それぞれの側に取り付けます。

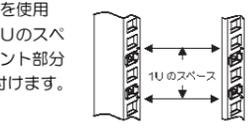


4. リアパネル側にラックマウントブラケット(大)をブラケット取付用ネジ（片側 3 個ずつ）で左右それぞれの側に取り付けます。



注意 ラックマウントブラケット(大)は、ラックの奥行きに合わせて 5 段階の取り付け穴を設けてあります。取り付けるラックの奥行きに合わせてラックマウントブラケット(大)を取り付けてください。

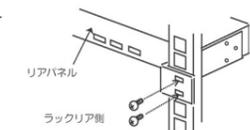
5. ラックに添付のコアナットを使用し、本製品を取りつける 1U のスペースを確認し、前後のマウント部分（4 ヲ所）に 4 個ずつ取り付けます。



6. フロントパネルをラックのフロント側から添付のラック取付用ネジ（4 個）にて固定します。

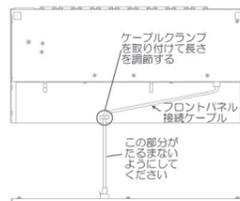


7. 本製品をラックのリア側から、添付のラック取付用ネジ（4 個）にて固定します。



8. 本製品の底面に接続されているフロントパネル接続ケーブルをフロントパネルに接続します。

9. 添付のケーブルクランプを、フロントパネル接続ケーブルがたるまないように、本製品裏面の適切な場所に貼り付ける。



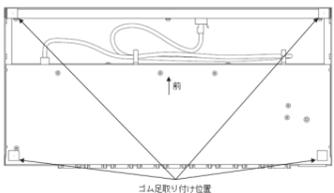
重要 ケーブルを固定する際は、コネクタにテンションがかからないように注意してください。

卓上に設置する場合。

次の条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所に本製品を設置すると、誤動作の原因となります。

- 床におとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する場所。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- 本製品の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共有しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源コードまたはインターフェースケーブルを足で踏んだり、引っ掛けたりするおそれのある場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど）を発生する装置の近く（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください）。

1. 本製品を卓上に設置する場合は、本製品裏面の 4 箇所に添付のゴム足を貼り付けてください。



注意 本製品を設置後、本製品が安定している事を確認してください。

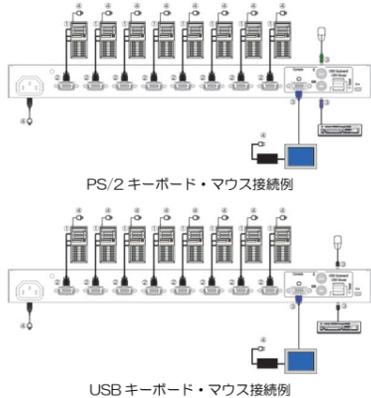
以上で完了です。次の手順に進んでください。

Step 3 ケーブルを接続する

単体接続

「ユーザーズガイド」で、「2 準備」の「1. 2. 1 単体接続」を参照してください。

次の手順に従ってケーブルを接続します。（本製品にサーバを 8 台接続した場合の接続例です。）



1. 1 台目のサーバ側に専用ケーブル（K410-118）のサーバ接続コネクタをディスプレイコネクタ（青）⇒USB コネクタ（黒）の順に接続します。（①の手順）
2. 本製品のサーバ接続コネクタに 1 項で接続した専用ケーブル（K410-118）の SSSU 接続コネクタ（黒）を接続します。（②の手順）

3. 2～8 台目のサーバも同じ要領で接続します。（①、②の手順）

重要 インタフェースケーブルの接続は本製品側、サーバ側の順序で接続してください。

4. PS/2 タイプのキーボード、マウスを使用する場合は、キーボードの PS/2 コネクタ（紫）を本製品のコンソール用 PS/2 キーボードコネクタ（紫）に、マウスの PS/2 コネクタ（緑）を本製品のコンソール用 PS/2 マウスコネクタ（緑）に、ディスプレイコネクタ（青）を本製品のコンソール用ディスプレイコネクタ（青）に接続します。USB タイプのキーボード、マウスを使用する場合は、本製品の USB キーボードの USB コネクタ（黒）と USB マウスの USB コネクタ（黒）をコンソール用 USB キーボード、マウスコネクタ（黒）に接続します。（③の手順）
5. 本製品やサーバおよびディスプレイの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。（④の手順）

重要 指定された電源コード以外のコードを使用しないでください。

6. 接続した専用ケーブルを添付のケーブルタイで固定します。本製品に接続した電源コードは添付の電源ケーブルクランプに 1 巻きして固定します。



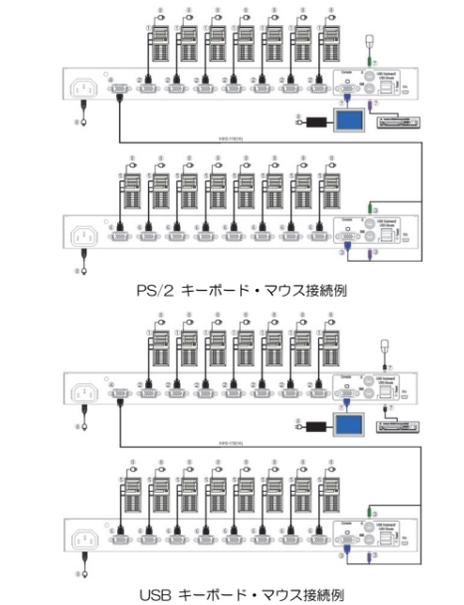
重要 電源コードは抜け防止のため、本製品に添付の電源ケーブルクランプで必ず固定して下さい。

7. 正しく接続されたことを確認したら、サーバを起動してキーボード、マウスが正しく機能することを確認し、MONITOR TYPE の設定を行ってください。その後再起動し、残りのサーバを起動し選択できることを確認してください。

カスケード接続 ～9台以上のサーバを接続する場合～

「ユーザーズガイド」で、「2 準備」の「1.2.2 カスケード接続～9台以上のサーバを接続する場合～」を参照してください。

本製品の各サーバポートに本製品を接続することができます。このような接続方法をカスケード接続と呼びます。カスケード接続している場合、コンソールのディスプレイ、キーボード、マウスが接続されている本製品を「マスタ」と呼び、マスタのサーバポートに接続された本製品を「スレーブ」と呼びます。本製品を 2 台使用してカスケード接続し、全てのポートに Express サーバを接続したシステム例（Express サーバは 15 台接続）での接続手順を説明します。



1. マスタ側本製品のサーバ接続コネクタ（黒）1～7 に「単体接続」の 1 項～3 項を参照して 7 台のサーバを接続します。（①、②の手順）

重要 本製品及び各サーバとコンソールの電源コードは後で接続します。

2. スレーブ側本製品の、コンソール用ディスプレイコネクタ（青）に K410-119(1A) 接続ケーブルのコンソール用ディスプレイコネクタ（青）を、コンソール用 PS/2 マウスコネクタ（緑）に K410-119(1A) 接続ケーブルのマウス用 PS/2 コネクタ（緑）を、コンソール用 PS/2 キーボードコネクタ（紫）に K410-119(1A) 接続ケーブルのキーボード用 PS/2 コネクタ（紫）を接続します。（③の手順）

重要 カスケード接続は K410-119(1A) のみ可能です。他の専用ケーブルではカスケード接続はできません。

3. マスタのサーバ接続コネクタ（黒）8 に K410-119(1A) 接続ケーブルのサーバ接続コネクタ（黒）を接続します。（④の手順）

4. スレーブのサーバ接続コネクタ（黒）1～8 に「単体接続」の 1 項～3 項を参照して 8 台のサーバを接続します。（⑤、⑥の手順）

注意 スレーブとなる本製品を更に増設する場合は、上記 1 項～3 項の要領で接続してください。このとき増設する各スレーブ側の本製品はマスタ側の本製品のサーバ接続コネクタ 7～1 の順に接続します。

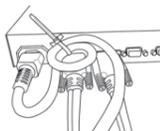
重要 スレーブ側の本製品に、更にもう一台の本製品をスレーブ(三台目)としてカスケード接続することはできません。

5. PS/2 キーボード、マウスを使用する場合には、マスタ側の本製品のコンソール用ディスプレイコネクタ（青）にディスプレイの VGA コネクタ（青）を、マスタ側の本製品のコンソール用 PS/2 マウスコネクタ（緑）にマウスの PS/2 コネクタ（緑）を、マスタ側の本製品のコンソール用 PS/2 キーボードコネクタ（紫）にキーボードの PS/2 コネクタ（紫）を接続します。USB キーボード、マウスを使用する場合には、マスタ側の本製品のコンソール用ディスプレイコネクタ（青）にディスプレイの VGA コネクタ（青）を、マスタ側の本製品のコンソール用 USB コネクタ（黒）にキーボード、マウスの USB コネクタ（黒）を接続します。（⑦の手順）

6. 本製品やサーバおよびディスプレイの電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。（⑧の手順）

重要 指定された電源コード以外のコードを使用しないでください。

7. 接続した専用ケーブルを添付のケーブルタイで固定します。本製品に接続した電源ケーブルは、添付の電源ケーブルクランプで固定します。



8. 正しく接続されたことを確認したら、サーバを起動して MONITOR TYPE の設定を行ってください。その後再起動し、正しいサーバポートに接続されていてキーボード、マウスが正しく機能することを確認し、さらに残りのサーバを起動し選択できることを確認してください。